

ハイテクノロジーが、  
ロングセラーを  
新しくした。



# アビマイヤー® CR

## 箱粒剤

播種時から移植時まで、いつでもまける幅広い処理適期を実現。  
コントロール・リリースで、いつでも使えて、しっかり守る。

育苗箱専用殺虫剤

播種時から、使える。



播種時



緑化期



移植時



Bayer CropScience

播種時から、使える。

# アドマイヤー® CR 箱粒剤

農林水産省登録:第22132号

- 成分:イミダクロプリド.....1.95%
- 性状:類白色細粒
- 毒性:普通物

## アドマイヤーCR箱粒剤の特長

- ◎新製法「CR(コントロール・リリース)」により、播種時から移植当日まで使用可能です。
- ◎使用時期が幅広いため、労力配分が可能です。
- ◎イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類に対し高い防除効果を示します。
- ◎人畜、水産動物に対しても高い安全性を示します。
- ◎有用昆虫、天敵などに影響の少ない薬剤です。

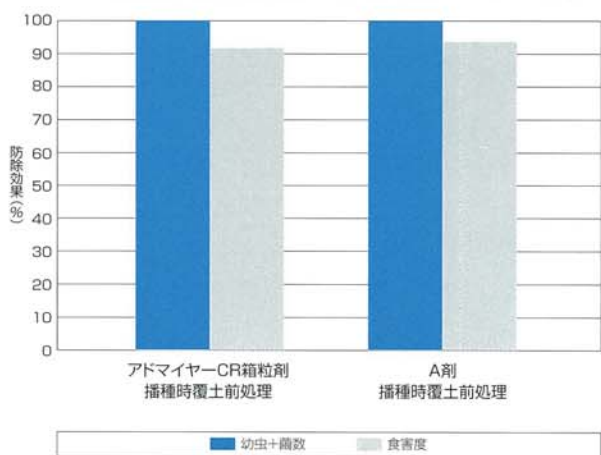
## 適用作物、害虫および使用方法 (2008年12月現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	ウンカ類 イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種時(覆土前) ～移植当日	本剤.....1回 イミダクロプリド.....3回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計1回以内、 本田での散布は2回以内)	育苗箱の上から 均一に散布する

\*収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

## 効果試験 (日植防新農業実用化試験結果より)

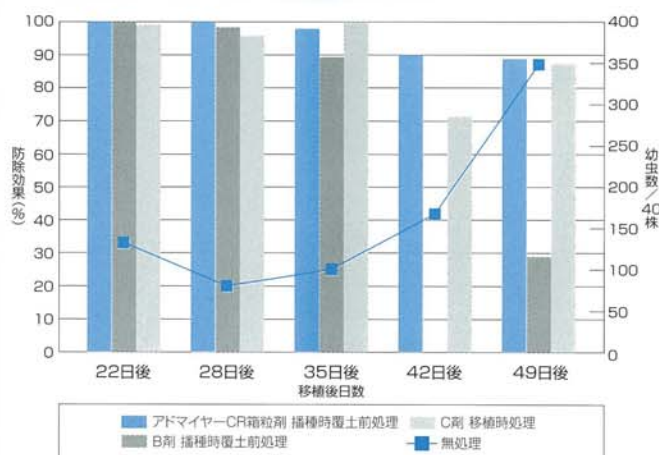
### ■イネミズゾウムシに対する効果



#### 長野農事試験場 (平成18年)

品 種:信交507号  
 処理月日:平成18年4月21日  
 移植月日:平成18年5月25日  
 発生状況:少発生  
 調査方法:移植27日後に150株/区について食害度を、移植42日後に9株/区について寄生幼虫・土菌数を調査

### ■セジロウンカに対する効果



#### 日本植物防疫協会高知試験場 (平成18年)

品 種:フクヒカリ  
 処理月日:平成18年6月9日  
 移植月日:平成18年6月26日  
 発生状況:中発生  
 調査方法:指定された日に、40株/区について、寄生するセジロウンカを調査

## 使用上の注意事項

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 晩期栽培では、は種時の処理により薬害が生じる恐れがあるので、は種時の使用を避けてください。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に、移植後田面が露出しないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベル記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

(F-1131 08.12.JWT)

バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室: ☎ 0120-575-078 (9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝祭日をのぞく)